

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

アテゾリズマブ・ベバシズマブ療法不応・不耐後 HCC の
肝動脈化学塞栓療法と薬物療法の治療成績の検討

1. 対象となる患者さん

2020年9月～2025年12月までに当院で肝細胞癌に対して Atezo/Bev を一次治療として行うも腫瘍増大を呈し、その後 TACE 単独または薬物治療単独もしくは併用療法を行った患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座 松本 武士

3. 研究の目的と意義

この研究は、カルテ情報を解析し、テゾリズマブ・ベバシズマブ療法 (Atezo/Bev) が不応・不耐後の進行肝細胞癌症例において、サルベージ治療の選択肢が限られる中で、TACE と薬物療法の当院における二次治療以降での TACE と薬物治療の治療成績を比較検討することで、局所療法と全身化学療法の併用治療で恩恵を受けられる患者さんを選択する際の基準に繋がることを期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、二次治療以降での TACE と薬物治療の治療成績を算出します。

5. 使用する情報

診療情報：年齢、性別、既往歴、病期・肝予備能、腫瘍サイズ・個数、病因、腫瘍マーカー

一、抗腫瘍効果、CR 率、Child Pugh score、ALBI grade、無増悪生存期間（PFS）、後治療内容、全生存期間（OS）、有害事象。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究の実施体制

研究代表者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座 松本 武士

8. 外部機関への情報等の提供

本研究において、他の機関との情報の授受は行いません。

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 12 月 31 日

10. 個人情報の取り扱い

研究開始時に、氏名、住所等の個人の特定が可能なデータを研究用 ID に置き換え、対応表を作成します。対応表は、パスワードをかけて放射線診断・IVR 学講座の研究室内のインターネットとつながっていないコンピューター上に保存し、パスワードを知る者は研究責任者のみとします。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座 松本 武士

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051